

釧路湿原川レンジャー News

夏のキラめく釧路川で子どもたちと一緒に調査しました！



7月28日（火）に令和8年度 第2回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催し、17名の川レンジャーが参加しました。今回は標茶町熊牛原野の瀬文平橋上流において、しべちゃアドベンチャースクールの子どもたちと一緒に、釧路川の「水生生物調査」を実施しました。

水生生物調査は、川に生息する生き物や水質などを調べることで、釧路川の自然環境の状態を知る取組です。学習会では実際に川に入り、生き物の観察や水質調査を通して、釧路川の自然環境について理解を深めました。



◆川の水質を調べよう 川のようすの調査



川の状態を知るため、水温、透視度（にごり）、流速を調べ、現在の川の様子を確認しました。

透視度と流速の測定は、どちらも一人では難しいため、川レンジャーと子どもたちが協力して調査を行いました。また、川のおいや川底の感触、ゴミの有無などを実際に確認し、参加者それぞれが感じたことについて意見を出し合いながら、川の親しみやすさを評価しました。

まわりに、ゴミはなさそうだね

川底の感触はどうか？

うーん、ぬるぬるとかはなくて、歩きやすそうだよ

◆川の水質を調べよう 川の簡易水質調査

この調査では、誰でも手軽に水質を調べられる検査キット（パックテスト）を使い、pHのほか窒素やリンの量などを調べ、化学的な観点から川の様子を確認しました。パックテストは検査薬の入ったパックで水を吸い上げ、水の色の変化から結果を判定します。水に指が触れないよう注意しながら吸い上げる作業は少しコツが必要でしたが、何度か挑戦し、無事に測定できました。



指が水に入らないように注意して

どの色が一番似ているかな？



色見表と比較してpHを判定

◆川の生物を調べよう 川の生物の採集と分類

調査では、石を裏返したり、たも網を使って茂みの周辺をすくったりして生き物を探しました。



「大きな石を裏返してみよう」と声をかけ、子どもたちに生き物の探し方を伝えながら、石の裏にいる水生昆虫を探しました。



「こっちから追い込むから、たも網を構えて」と、子どもたちと協力しながら生き物を捕まえました。スズエビ、水生昆虫、ヤツメウナギの稚魚なども捕まえました。

●調査の結果 総合評価は「ランクA」！！

採集後は、捕まえた甲殻類や魚類、水生昆虫の種類や数を確認しました。このほか、川の様子や簡易水質調査の結果も合わせて、各班で釧路川の環境について評価しました。



調査終了後、各班ごとの調査結果が、「豊かな生態系の確保」、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の、二つの項目でとりまとめられ、いずれの評価も、判定はAランクでした。

今回の調査を通じて、私たちの身近にある釧路川が、とてもきれいで生態系も豊かであることがわかりました。

今後の川の観察活動にも学びを活かし、この先も豊かな自然環境が残る釧路川を、みんなで守っていきたいですね。

★2026年 観察活動の報告 ゴミの放置とオオハンゴンソウについての報告がありました

川レンジャーから観察活動の報告が寄せられましたので、ご紹介します。

観察日	報告内容
7月17日	新釧路川堤防の工事箇所を再度訪れましたが、また周辺にゴミが放置されていました。工事現場以外にはゴミは無く、きれいな状態で気持ちよく絶景を楽しみ、動物を観察することができました。 「花咲かじいさんプロジェクト」での植樹エリアは柵でガードされていましたが、こちらにもゴミの放置が見られました。
8月8日	第1回川レンジャー学習会でオオハンゴンソウ防除作業をした場所の様子を見てきました。花は見られず、みなさんのご苦労が報われ作業は大成功です！外来種の駆除作業は地道に続けることが大事なのですね。



オオハンゴンソウ防除現場(8月8日)

観察活動は、川レンジャーの重要な活動の一つであり、釧路湿原や釧路川の環境を守るために大きな役割を果たしています。今後も「釧路湿原川レンジャーNews」で活動の様子や観察結果を紹介していきますので、引き続き皆さまからの報告をお待ちしています。

